
スパムメール対策ソリューション 「Sendmail Mailstream Anti-spam Solution 2.0」を発表

システムレベル制御、革新的なスパム検索エンジン、ユーザ制御フィルタの3 段階で確度の高いスパム対策を実現

センドメール株式会社(本社：東京都中央区、社長：小島國照)は、新しいスパムメール(迷惑メール)対策ソリューション「Sendmail Mailstream Anti-spam Solution 2.0」(メールストリーム・アンシスパムソリューション、以下 MAS2.0)を発表し、本日より販売開始いたします。

MAS2.0 は、信頼性の高いメール配送エンジン「Sendmail Switch」をベースに、システムレベル制御、スパム検索エンジン、ユーザ制御フィルタの3階層から構成されます。

まず、「FlowControl Filter」により、メールゲートウェイで送受信したメール流量を監視・コントロールし、スパムメール、DoS(サービス停止)攻撃などの予期せぬメール流量の増加からネットワーク資源を守ります。

次に、絶えず形を変えるスパムにも対応可能なパターンマッチングエンジンを搭載した「Anti-Spam Filter」で、メールの特徴を解析し、フィルタ内に持つデータベースと照合して、スパムかどうかを判定。スパムと想定されるメールを格付けします。

最後に、その格付けを基に、サーバサイドフィルタ「Sendmail Intelligent Inbox」により、受信拒否、隔離などのアクションを設定します。Intelligent Inbox は、会社のポリシーや個人の基準に従い、サーバ/ドメイン全体にわたってフィルタリングを徹底すると同時に、システム管理者だけでなくエンドユーザが個々に詳細設定できるのが特長です。(Intelligent Inbox は、本日発表の別プレスリリースをご覧ください)

大量のスパムはサーバ負荷の増大、ビジネス効率低下など大きな問題となっていますが、ウィルスとは異なり、迷惑メールか否かは受信者に依存するため、スパムフィルタにより有用なメールまで損失してしまうリスクを伴います。MAS2.0 は、3つのテクノロジーを組み合わせ、確度の高いスパム対策を講じながら、個人のニーズに柔軟に対応し、有用なメールまで損失してしまうリスクを防止する最先端のスパム対策ソリューションです。

米国では、スパムメールは全体の45%にのぼり、2007年には70%を越えると言われております。また、スパムメールの影響で従業員1人当たりの生産性が平均1.4%低下、企業が被る損害は従業員1人当たり874ドルなどの調査が報告されており、同様の状況が日本にも及ぶことが予想されます。(※1)

センドメールでは、企業、大学、自治体、および適切なスパム対策への取り組む必要性の高いISP

に向けて、センドメールの販売代理店各社を通じて、2003年12月9日よりMAS2.0を発売いたします。価格はオープンプライスで、初年度2億円の販売を見込んでいます。

■ Sendmail Mailstream Anti-spam Solution 2.0 の概要と特長

【1】システムレベル制御

Sendmail Switch(MTA)、および Milter インターフェースにより MTA に統合された Flow Control Filter がサイト全体の SMTP トラフィックを監視し、メッセージフローを規定、アドレス・ハーベスティング攻撃や DoS 攻撃、メールトラフィックの急増を防ぎます。

(1)Sendmail Switch

- ・アクセス制御リスト (登録したドメイン名、IP アドレスからのメール着信拒否)
- ・DNS ベースブラックホールリスト
(DNS ベースで運用しているサーバにアクセスし、リストしてあるドメインからのメッセージ着信拒否)
- ・SMTP Auth (SMTP 送信者を認証し、パスしないサーバからのメール配送要求を拒否)
- ・サブジェクト行フィルタ
(メッセージのサブジェクト行に対して、登録された文字列にマッチするメッセージの着信拒否)

(2)Flow Control Filter

- ・最大同時接続数の設定により、バースト的に送られてくるメールの流量を制限。
- ・メッセージの流通量を監視し、あらかじめ設定した値(単位時間当たりのメール通数、量)以上のメールを送信する/受信した場合、流量制限、または着信拒否。
- ・ドメイン/ソース IP 単位のコネクション数制限/エンベロープ数制限設定。
- ・ドメイン単位のキュー構成が可能。

【2】革新的なスパム検索エンジン

Sendmail Anti-spam Filter は、絶えず形を変えるスパムにも対応可能なパターンマッチングエンジンを搭載したハイパフォーマンスのスパム検出エンジンです。

言語に依存せずメールの特徴を解析し、フィルタ内に持つデータベースと照合して、スパムかどうかを判定し、スパムと想定されるメールを格付けし、受信拒否、破棄、隔離などのほか、さらに複雑な方法で処理します。Sendmail Anti-spam Filter は、米 Cloudmark 社からの OEM 製品です。

- ・スパムメールの膨大なデータベースにより、メッセージを高い確率で正しく診断可能。
- ・スパム情報は 30 日~60 日ごとにアップデート。
- ・ほとんどのスパムメールを排除することで、ファイアウォール内で処理するメッセージ数を削減。
- ・スパムと判断されるメッセージを格付けして、適切に処理。
- ・システムで処理されたスパムメール履歴や、スパム数、格付け別の統計などのレポート

を作成。

【3】 ユーザ制御フィルタ

Sendmail Intelligent Inbox は、スパム処理や、ホワイトリスト/ブラックリスト設定を、サイト、ドメイン、ならびにユーザごとに行えるサーバサイドフィルタです。Web ベースの GUI で、スパムの格付け情報に基づいて処理を詳細に設定可能。従来は困難とされていたユーザによる柔軟なスパム制御を可能とします。

- ・ハイパフォーマンス Sieve エンジンベースとするサーバサイドフィルタ。
- ・管理者または個々のユーザが、ホワイトリスト/ブラックリストの設定と、すべてのスパム処理を管理可能。
- ・Web ベースのインターフェースを提供。
- ・Sendmail Directory Server(SDS)に個々のユーザ/サイト/ドメインのフィルタリングや、ルールを定義するスクリプト、ユーザの開封確認、パスワード、および認証情報を格納。

■販売価格・発売/出荷時期

販売価格 : オープンプライス

※販売価格は、サポート内容など販売形態により異なりますので、詳細は以下にあります各販売パートナーにお問い合わせください。

<http://www.sendmail.com/jp/partner/>

発売/出荷 : 2003 年 12 月 9 日

■稼働環境

対応 OS : Red Hat Linux、SuSE Linux (United Linux)、MIRACLE LINUX、Solaris

対応機種 : Intel Pentium II 以上搭載機種を推奨

Web ブラウザ : Microsoft Internet Explorer 5.5 以上

Netscape Navigator 4.7 SP2、 Netscape 6.2 SP2

※1 米 Radicati Group(2003 年 2 月 13 日)

2003~2007 年におけるアンチウイルス、アンチスパム、コンテンツ・フィルタリングの市場傾向調査によると、2003 年スパムメールは全体の 45%にのぼり、2007 年には 70%を越える。

米 Nucleus Research(2003 年 7 月 1 日)

米国企業の従業員 1 人が 1 年間で受信するスパムメールは平均約 3500 通。スパムメールの影響で従業員 1 人当たりの生産性が平均 1.4%低下。スパムメールによって被る損害額は、従業員 1 人当たり 874 ドルにのぼる。

米 IDC(2003 年 9 月 26 日)

世界中で 1 日当たりに送信されるメールは、2002 年の 310 億件から、2006 年には 600 億件を超え、スパムメールは、現在 28%から、2007 年には 47%に達し、個人から個人に送られるメッセージ(現在約 53%、2007 年には 33%)よりも、今後は、スパムメールや通知メールが急速に増加する。

米 InsightExpress/UNspam(2003 年 10 月 15 日)

米国消費者を対象としたスパムメール調査によると、受信するスパムメール量がこの 12 カ月間に 76%増加。

■ Sendmail 社について

<http://www.sendmail.com/>
<http://www.sendmail.com/jp/>

Sendmail 社(Sendmail,Inc. 本社：カリフォルニア州エメリビル)は、オープンソースのメール配送エージェント(MTA：Mail Transfer Agent)の「sendmail」を開発したエリック・オールマン(Eric Allman)と、Sybase 社や Integrated Systems 社で重役ポストを歴任したソフトウェア業界のベテラン、グレッグ・オルソン(Greg Olson)によって 1998 年に設立されました。

2000 年には、事業拡大のために、デイブ・アンダーソン(Dave Anderson)が社長兼 CEO に就任。Amdahl Corporation 社の元 CTO 兼上席副社長であったアンダーソンは、メインフレーム専門メーカーだった Amdahl 社を、ソフトウェアやサービスを手がけるベンダーへと見事に路線転換させた実績を持ちます。

Sendmail 社は非公開企業で、出資元としては、Morgan Stanley Dean Witter Private Equity、Chase H&Q、Robertson Stephens、Red Hat、Intel IA64 Fund、Novell、Adobe、Network Appliances、Network Associates、ANT、Trans Cosmos などのベンチャキャピタル投資者、企業投資者および一般投資家が名を連ねています。従業員は 180 人を超え、英国、ドイツ、フランス、および東京(アジア太平洋地域)に拠点を擁し、日本法人は、2003 年 1 月に設立されました。商用版「Sendmail」は、欧米で約 3 万ライセンス、アジアで約 1 万ライセンスを出荷しています。

報道関係者お問い合わせ

センドメール株式会社

担当：清水

TEL：03-5524-2338 FAX：03-5524-2438

marketing-japan@sendmail.com

Sendmail は、Sendmail, Inc. の登録商標です。Sendmail Advanced Message Server と Sendmail Mobile Message Server は、Sendmail, Inc. の商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標です。